



岸 高明の市議会だより

事務所 茅ヶ崎市新栄町7-1 岸ビル6F
自宅 茅ヶ崎市本村4-10-8

Tel 0467-89-3807

Fax 0467-89-3806

<http://www.takaaki-kishi.com/>

mail: takaaki_kishi@hotmail.com

3月議会(平成21年第1回定例会)から



代表質問を行いました

平成21年度の施政方針の議論と予算等が審議された本会議会は、3月24日に閉会となりました。私は、市議会内の会派・茅ヶ崎クラブを代表して質問を行いました。3月議会は、21年度に市長が茅ヶ崎市の運営の方針を述べた施政方針と予算付けなどがあり、質問は多岐に渡ります。2時間に渡り、市長などの行政側と議論を交わしました。論点の主なテーマと骨子を抜粋します。

市民税は減で固定資産税は増

世界的な金融不安は、一昨年からの世界的な金融不安は、昨年秋に極端な景気の落ち込みとなり、雇用不安など市民生活にも大きな影響を与えています。茅ヶ崎市の平成21年度予算は、不況から市民税収入が約6億円落ち込む見込みですが、仮称・緑が浜第二小学校建設等の支出で一般会計予算額は578億円と前年比4.6%の逆に増加しています。市税収入は前年(平成20年)の収入に基づき算出しますが、予算編成での推計は、昨年11月末のデータであり、急激な経済情勢化を十分反映出来ていないと、私は考えています。6月に再見直しとなります。一方、市税収入の半分を占める固定資産税の評価替えが、今年度行われています。昨年の1月1日の土地価格に基づき固定資産税が計算されているので、予算では約3億円増となっています。

<右上に、続く>

<左下から続く>

しかし、先日、土地取引の指標となる土地の公示価格が発表されましたが、全国的に、土地価格は下落傾向で、茅ヶ崎市も例外ではありませんでした。この件は、昨年的一般質問で速報値について、取り上げてきました。土地価格は、納税者の面と共に、街の魅力の評価結果でもあると考えています。

公共施設整備再編への影響

パブリックコメントなどを経て、昨年3月に公共施設整備再編計画がまとめられました。計画では、市庁舎や福祉会館などを耐震強度不足のために建て替えます。菟園の温水プールは既に工事中。既に、学校の耐震補強は完了ですが、次に、耐用年数から建て替えも計画。人口増加に伴う仮称緑が浜第二小学校建設では、用地買収完了し工事中。公共施設整備再編計画には、平成20年度から10年間で総額246億円の事業費が必要で、国県の支出金と未利用地の売却29億円、一般会計から41億円が財源として投入される計画。しかしながら、景気の悪化による市税収入の落ち込み、一方、支出の増加が見込まれます。結果として、この計画に振り分けられる予算が減少します。市としては、中期の財政見通しの再検証が必要。また、プログラム全体の再検証を行うとしています。そして、整備の基本的な考え変更せず、他の財源確保、事業の実施時期・事業規模を一部見直し見直すとしています。議員として必要性・優先順位などを慎重に評価したいと思います。



市債の発行の歯止め

市も景気の影響で財政が厳しく財源不足が予想されます。そのために市債（借金）をして事業に充てる事になりますが、将来へ負担を残さず済む市債の発行額に対し歯止めが必要です。本市は、平成21年度において、一般会計では市債残高は減少しますが、道路建設などの公共用地先行取得事業や下水道事業などを含めると市債残高は増えます。今後、公共施設再編整備事業などで一時的に市債残高が増えると予測していますが、発行額を元利償還以下に抑制してプライマリーバランスの黒字を維持するとの方針です。注意をしたいのは、公共施設再編整備計画では平成24年度に元利と市債発行額がほぼ同額になる事。元利償還金額、すなわち、元金プラス利息の返金額が市債発行額と同額では、市債は増加してゆくという事です。一律に市債が悪いとはいえませんが内容の吟味が必要です。



平成22年度の財政収支は マイナス計画

現在、市は一年毎に予算を組みますが、その上に3年間の計画（実施計画）があります。それには平成22年度は、赤字となっています。予算化時点は、調整される事と思いますが、いずれにしても余裕は無いという事です。



温水プールの建設費

耐震問題上から萩園のごみ焼却場の余熱利用の温水プールは、建替え工事中で来年には再開予定です。事業当初の建設予定額に比較し、50%（3億円）増加し9億円の見込み。今後同様の事業での市民要望と建設費、利用者負担の関係の議論はポイントと思います。



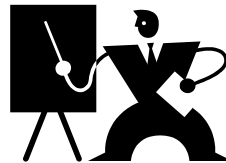
効果が望まれる海岸侵食対策

中海岸の海岸には激しく浸食され砂が無くテトラポットで保護され、砂浜伝いに歩けない箇所があります。最近、砂が高く積まれている事に気がついた人もいます。その砂山は、県が10年間で50メートル前浜を延ばすために置いています。実験によりある程度の大きさの砂であると波により運ばれた砂が、再び漂い海岸に留まるとの結果により砂山が置かれています。市としては、漁港西側の堆積砂を中海岸の浸食部に毎年入れています。4年に1度のコースタルダイナミックス 2009 という国際的な海岸工学者の研究会で日本の取り組みとして紹介され、視察対象地となっています。



代表質問項目から

柳島のスポーツ公園の移設／藤沢市のエコセンター利用／商店街の活性化／農業政策／特別学級／交通政策／観光政策／次期総合計画／その他



議会報告会

直接聞けない皆様の声を聴くために、紙面では伝えきれない事をお話するために、議会報告会を議会ごとに開催しています。

肩の力を抜いてご参加下さい。

<日時> 4月29日（水曜日・昭和の日）

13時から15時まで

<場所> ハスキーズギャラリー

茅ヶ崎駅北口、長谷川本屋となりのヤマジビル

（1階がカレー屋、中華店）の6階

<入場無料>

<予約不要>直接会場にお越し下さい